

歴史

先人たちが残してくれた貴重な記憶を
ゆっくり歩きながら訪ねてください。
壬生の歴史文化に触れる

必訪スポット

壬生町立歴史民俗資料館

壬生町の歴史・文化を紹介する資料館。羽生田地区の古墳から出土した国内最大級の家型埴輪や芸術作品を展示。必見です。



御用水通り

壬生城三の丸の堀沿いを流れていた御用水を再現。緑に包まれた水辺となり安全に散歩できます。壬生の歴史に思いを馳せて、歩いて欲しい散歩路です。



齋藤玄昌の旧宅跡

壬生藩お抱えの蘭学医で種痘普及の立役者、齋藤玄昌の屋敷と病院の跡地。戊辰戦争で、玄昌らが働いていたとされる官軍野戦病院が壬生城内に設けられ、国内初の女性看護人が採用されました。



蘭学通り(石崎邸長屋)

壬生町の大通り(正式名:日光道中壬生通)は、壬生藩主の蘭学振興により、多くの蘭学者を輩出したことになんで「蘭学通り」と呼称されるようになりました。



松本家住宅(特別公開時のみ)

松本家の分家で、貴重な本陣建築様式を踏襲した建物。木造平屋建て、寄棟造。玄間妻飾りや室内の透彫欄間に鶴などを主題とした巧緻で華やかな彫刻が施されています。

壬生町の観光に関するお問合せ

壬生町観光協会 (壬生町役場経済部商工観光課内)

〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号
TEL0282-81-1844 FAX0282-82-1107
ホームページ <http://mibu-kankou.org>
メールアドレス keizai@town.mibu.tochigi.jp



味

まち歩き楽しさと言えば「食」。
美味しい味にまち歩きも、楽しくなります。
蘭学通りを食べ歩こう

水の郷・けーきの家ヒガン



(営)10:00-18:30 (休)水曜日

創業70年以上という壬生を代表する洋菓子の専門店。季節の果実をふんだんに使用したスイーツが並び、その数は160種類にも及ぶという。



お茶とお惣菜のパオ



(営)9:00-18:00 (休)日曜日

美味しいお茶が手に入るお店。日本茶インストラクターのオーナーが美味しいお茶の淹れ方やアドバイスをしてくれます。



カワシマ(パンと洋菓子)



(営)9:00-20:00 (休)火曜日

種類が豊富な昔ながらのパン&ケーキのお店!新鮮な材料を吟味し、添加物を使っていないので素材の味が生きた正直なパンが食べられます。



なからい菓子店



(営)8:00-19:00 (休)第1・3木曜日

明治時代の中頃から続く和菓子の老舗で、最中や羊羹などは創業当時の逸品として、壬生の贈答品の定番。店頭で並ぶ和菓子は10種類ほど。庶民的なあんドーナツも人気。



そば処 都庵



(営)9:00-18:00 (休)木曜日

大正12年創業の老舗で、現在は3代目が腕を振る。北海道産のそば粉を使った手打ちそばは、しっかりした食べ応えで昔ながらのファンが多い。ダシはやや濃いめ。



日本料理 旬香



(営)ランチ11:00-14:30 ディナー17:00-22:00 (休)火曜日・第3月曜日

旬の食材をふんだんに使ったお料理が楽しめます。内容充実、お得なランチがおすす。壬生お殿様料理も提供されており、歴史散策のあとは、壬生城の再現料理をどうぞ。



いさごや



(営)11:00-21:00 (休)日曜日

蘭学通りの中心にあり、酒質設計熟成管理者の店主が、メーカーに足を運び、仕上がりが具合も丹念に確認した「壬生ブランドシリーズ」が人気です。



祭

人々に活気があふれる町の魅力がいっぱい。
予定を合わせて出かけよう!
祭り&イベントガイド

4月上旬

しのもめ花まつり

黒川沿いの桜が満開の時期に開催され、町内外の大勢の人で賑わう。会場の東雲公園では、キャラクターショーや地元アーティストによるライブなどイベントが開催される。



7月上旬~中旬

八坂祭

夏の病除け、無病息災を祈願する祭り。約1tの大神輿を男衆が担ぎ練り歩く姿は壮観で迫力満点。夜は各町内から出る山車やお囃子がぶつかり合い、熱気に包まれる。



不定期

ライデンマルシェ



蘭学仲通り商店会が主催・開催するライデンマルシェ。おいしいグルメが勢ぞろい!手作り雑貨の販売や音楽ステージなども行われます。お腹も心も満たされること間違いなしのイベントです。

10月下旬

壬生流ふくべたちのハロウィンナイト



壬生流ハロウィンは、壬生町の特産品「かんびょう」の実を乾燥させた「ふくべ」が、ジャックオーランタンとなって大活躍するイベントです。興光寺及び参道において、仮装コンテストやお化け屋敷、商店街のスタンプラリーなど開催されます。壬生流ハロウィンと一緒に楽しみましょう!

11月上旬

みぶっ子まちなかストリート

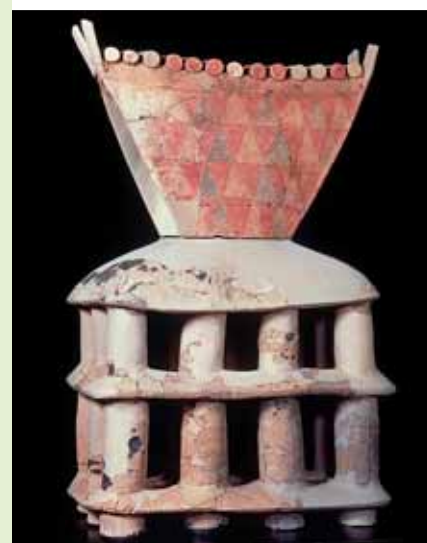


みぶっ子達が、一日店長となって、お店を開業します。子ども達が作ったオリジナル商品やオリジナルフード、オリジナルワークショップのお店が並び、子どもから大人までワクワク楽しいストリートです。

気分爽快 壬生まち歩き Map

組み合わせは、自由だよ。

歩く × 歴史 = 気持ちいい。



歩そつうだ。壬生

壬生町観光協会
キャラクター
壬城菟花
(みしろいちか)



壬生寺

慈覚大師円仁ゆかりの寺。全国700余の寺院を創建した慈覚大師円仁ゆかりの寺として名高い。境内には大師誕生の産湯に使ったといわれる「産湯の井戸」があります。樹齢400~500年の大銀杏も必見です。



常楽寺

室町時代の寛正3年(1462)に壬生初代城主・壬生筑後守胤業が創建。江戸中期から、壬生城主・鳥居家の菩提寺となりました。御典医(蘭方医)斎藤玄昌先生(二宮尊徳先生の主治医)歴代の墓等があります。



精忠神社

壬生藩主鳥居家の先祖・鳥居元忠公を祀る社。境内には元忠公が伏見城で自刃した際血を流した畳を埋めたとされる「畳塚」があります。



興光寺

3代将軍徳川家光公のお骨を日光に送納するに先立ち、通夜が行われた寺です。幕府から葵の紋が贈られています。



豊栖院

壬生藩の絵師・平出雪耕の功績を讃える「雪耕山人の碑」があります。



興生寺

平安時代の開創とされる静かな境内。下野三十三観音霊場の一つで、町指定天然記念物の榎(かや)の大樹もあります。



愛宕神社

京都市の愛宕神社を総本山とする火の神様を祀る神社として親しまれています。8月の例祭には子供相撲が奉納されます。

気分爽快 壬生まち歩きmap

ふれあいと感動を発見!

マップの見方

歩きは、1分間に80mくらいです。実際に歩いた時間となっていますが、目安です。赤字は、説明看板があります。壬生の歴史を感じ、気分爽快に♪

新日本歩く道紀行「文化の道」に認定! 新日本歩く道紀行100選シリーズは、地域の歴史や自然を再認識できる全国の「歩く道」を認定し、観光の発展や健康促進を目指す事業。壬生町の歴史に深く関わる史跡を巡るコースが「文化の道」として認定されています。

まち愛 スポット

まち愛スポット

左の看板が目印の休憩スポットです。お気軽にご休憩(トイレ)や観光情報などに、ご利用ください。●で表示されています。



街をてくてく、楽しんでみよう

ちよっと歩こうか

車塚古墳

墳丘は三段からなり、その直径は80mを越える県内屈指の大円墳です。塚の周りには、深い堀と土塁が廻り、古墳が造られた当時の姿を現在に留めています。



牛塚古墳

古墳時代後期の古墳。上から見ると帆立貝に似ているため、帆立貝型前方後円墳といわれている。車塚古墳とともに国指定史跡。



愛宕塚古墳

全長約77m、高さ約5mの前方後円墳で国指定史跡。古墳の前方部にある愛宕神社は、壬生城の鬼門除けとして建立されたと伝わる。



雄琴(おこと)神社

創建は寛治5年(1091)。9百年にわたり壬生の総氏神として広く篤い信仰を集めています。銅製の鳥居は県指定文化財になっています。



縄解地蔵(なわときじぞう)

「縄解」とは苦しみから解放されることで、信仰によって罪ある者さえ解放されたと言い伝えられ、「日本三体系地蔵尊」と呼ばれています。毎月4月下旬に例祭があります。



東雲(しのめ)公園

「明け方」を意味する「東雲(しのめ)」と名付けられた橋周辺には、250本のソメイヨシノが咲き誇ります。桜の時期には多くの花見客が訪れ、夏には鮎を追う釣り人たちが賑わいます。



城址公園

壬生城は室町時代に壬生氏が築城し、江戸時代には日光東照宮を参拝する徳川将軍家の宿城だった。本丸跡を整備した公園は石垣や堀が再現され、春は堀のエドヒガンザクラが見事。

